



生涯学習

にいがた

<http://www.lalanet.gr.jp/>

No.90
平成23年7月14日発行
新潟県立
生涯学習推進センター

◇高齢者を対象とした事業を成功に導く企画とは？◇ 社会教育・公民館職員スキルアップ研修

当センターでは、県内の市町村生涯学習職員や社会教育職員の皆さんが事業を推進する上で必要な知識や技術を更にパワーアップできるようにしようと、新規事業としてこのスキルアップ研修会を立ち上げました。

今年度は、6月16日(木)に新潟大学教授 篠田邦彦先生、同非常勤講師 篠田浩子先生をお招きして、県内のどの市町村でもニーズが多く現代的課題でもある高齢者対象の事業の企画力の向上を図ることをねらいとして行いました。

1 演習「効果的で安全な中高齢者の運動指導法について」

まず、お二人の先生方に、ウォーキングの理論と高齢者における諸注意等を御自分の講師経験を交えて説明していただきました。

また、自分の体を知ってもらう「気づきのプログラム」を、アライメント(正しい姿勢)チェックをとおして体験しました。

自分の身体のゆがみをチェックし、それを

軽減するための運動を体験しながら、企画づくりを行いました。その中で、高齢者のニーズをつかんだプログラムづくりが必要であることを学びました。

2 講義「高齢者を対象とした事業を成功に導く企画とは」

講義は、高齢者のイメージの概念を崩すことから始まりました。

現在活躍している芸能人等の年齢当てクイズでは、どの芸能人も私たちが思っているよりも年齢が高いことに驚きました。

また、高度成長期にあった日本を支えてきた高齢者の皆さんのキーワードは、「努力と辛抱」だということも伺いました。

公民館事業の中には、保健福祉課等と同じような取組をしていることがあります。新潟市の公民館の事例から、縦割りの壁を取り払い行政や大学等と連携することが大切であり、それぞれの得意分野を生かした協働の取組が必要であることを学びました。

アンケート等の評価の解釈についても、マイナスの評価も紳士的に受け止め、事業改善につなげることが大切であると教えていただきました。

3 演習「グループワーク」

高齢者の「生きがい・健康づくり」事業について、行動変容モデルの講義に基づいて演習を行いました。

今回の研修では、高齢者対象の事業の、たくさんのヒントを得ることができました。



◇今年度も いよいよスタート◇ 「にいがた連携公開講座2011」

「にいがた連携公開講座2011」は、新潟県教育委員会と県内の大学や市町村などが連携して、県民の皆様にとって身近でかつ地域ニーズに対応したテーマで開催する公開講座です。本年度は9講座を開催します。

	期 日	演 題	講 師	会 場
1	6/25 (土)	読み聞かせのススメ ～親子でふれる絵本の世界～	新潟大学 准教授 足立 幸子 様	出雲崎町中央公民館
2	7/17 (日)	無縁社会と日本の未来	新潟産業大学 教授 梅澤 精 様	新発田市加治川地区公民館
3	7/23 (土)	豆と日本人	県立歴史博物館 主任研究員 大楽 和正 様	県立歴史博物館
4	7/28 (木)	心を伝える介護の技術	新潟医療福祉大学 准教授 岡田 史 様	県立生涯学習推進センター
5	8/6 (土)	身近なものこそ真の歴史を語る～一通のはがきから	県立図書館 嘱託員 本井 晴信 様	県立生涯学習推進センター
6	8/28 (日)	川中島合戦と信越国境の軍用道	上越教育大学 教授 浅倉 有子 様	妙高市勤労者研修センター
7	9/4 (日)	人間関係のストレスを消す方法 ：心理学からのヒント	新潟青陵大学大学院 教授 碓井 真史 様	五泉市福祉会館
8	9/10 (土)	戊辰戦争と会津街道	長岡大学 教授 小川 幸代 様	阿賀町公民館
9	12/10 (土)	地名はどのように郷土史を語るのか～そのアプローチ法	県立図書館 嘱託員 本井 晴信 様	県立生涯学習推進センター

9講座とも開講時間は13:30～15:00、受講料無料、申込み不要、直接会場へお越しください。いきいき県民カレッジの登録講座です。

5回と9回の講座をインターネット配信する予定です。詳細については7月下旬ころにラ・ラ・ネットでお知らせする予定です。



メディア研修会 アナウンス研修開催

当センターでは、フリーアナウンサーの小野沢裕子様を講師にお迎えし、日常会話、司会やプレゼンテーション、ビデオ作品へのナレーションなどにおける話し方の研修を開催いたします。

- 参加対象
公立生涯学習施設関係者
視聴覚ライブラリー・センター職員
- 定員 20名
- 開催日時
平成23年8月30日(火)
13:00～16:00
- 会場
新潟県立生涯学習推進センター
- 申込みについて
締切は7月26日(火)。詳しくは県立生涯学習推進センターにお問い合わせください。

◇こんなとき どうします？◇

平成23年度 著作権セミナーの御案内

問題

- 1 市町村で観光キャラクターを募集するにあたって、募集要項に「最優秀作品の著作権は市町村に帰属します」と明記すれば、著作権法上、問題はない。
- 2 高等学校の図書館で、生徒のために所蔵図書資料の複写サービスを行うことは著作権上、問題はない。

著作権は、情報化社会にあつて、とても重要なものとなっており、日常業務にも密接なかかわりを持っています。上記の問題は、生涯学習を進める場面にもかかわる内容を含んでいるものです。

法律の中でも難解といわれる著作権法について、概論を学ぶ「著作権セミナー」を右記の通り実施いたします。上記の問題に「？」を感じた方はぜひ御参加ください。詳しくは、ラ・ラ・ネットをご覧ください。

申込多数の場合は抽選となります。

主催 文化庁・新潟県教育委員会

期日 平成23年8月23日（火）
9時30分～16時15分（9時受付開始）

内容 午前：講義「著作権制度の概要」

午後：第1分科会（行政・社会教育職員）
第2分科会（学校教職員）
第3分科会（図書館職員）
（指導はいずれも文化庁職員）



で広報してみませんか

(Twitter、TwitterロゴはTwitter, Inc.の登録商標です)

最近、公共機関でTwitter（ツイッター）の利用が盛んになってきています。

Twitterは、インターネット上で多数の人に向けて素早く情報を発信できるサービスです。140文字という限られた文字数での情報提供ですが、フォロワー（講読者）がそのまたフォロワーに情報をリツイートする（広める）ことにより、伝言ゲームのように短時間に、多くの人に情報を広められるという利点があります。また、リンクも貼り付けることができるので、自分たちのホームページへ読者を誘導することも可能です。

公共機関でTwitterを運用する際には、注意すべき点がいくつかあります。

一つは「成りすまし」の防止です。

Twitter公式ナビゲーター「ツイナビ」では、公共機関アカウント登録ページから、国

が運用する「Twitterアカウントの運用を行っている公共機関一覧」への掲載の申請ができます。これを使って運用者を明確にしておくことで「成りすまし」を防ぎます。

もう一つは運用ポリシーの策定です。

ネット上のトラブルを未然に防ぐためには、各所属でアカウントの運用ポリシーを定め、一般に公開することが必要です。

詳しくは経済産業省の「公共機関ソーシャルメディアポータル」を御覧ください。

(<http://smp.openlabs.go.jp/>)

当センターでも6月よりTwitterの運用を開始しました。ぜひ一度御覧になり、フォローをお願いします。

当センターURL http://twitter.com/lala_nlpc/

◇サークルの活動をインターネットで発信しませんか◇ ラ・ラ・ネットが新しく生まれ変わります

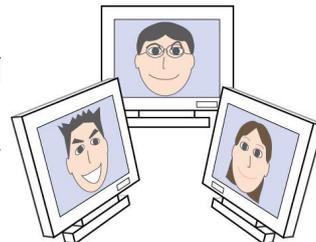
皆様に「ラ・ラ・ネット」の愛称で親しまれている「新潟県生涯学習情報提供システム」が10月1日より新しく生まれ変わります。

情報の登録も検索も、より簡単に、使いやすくなります。

また新コンテンツとして、県内の生涯学習団体やサークルの皆さんが、日々の活動の様子やイベント情報、メンバー募集などをホームページのように掲載できる「マイページ」をラ・ラ・ネット内に用意しました。ブラウザで文章を打ち込んだり、デジカメの写真を載

せるだけで、簡単に団体やサークルのホームページを作ることができます。「ホームページを作りたいけど、難しそうで…」と二の足を踏んでいたサークルの方にも、現在ホームページを持っている団体の方にも、ぜひ利用をしていただきたいと思います。

近日中に利用希望団体の募集を行います。多くの皆様の御利用をお待ちしております。



さわやかメール

定員30名で募集した「家庭教育支援者ステップアップ研修会Ⅰ～はじめの一步～」に77名の参加申し込みをいただいた。講師にご無理を申し上げ、44名の方々に参加をいただいた。33名の方にご辞退をお願いしたところ、切実な苦情をたくさんいただいた。

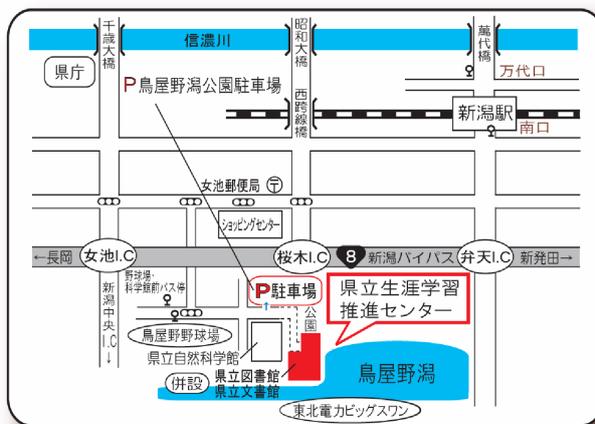
開設時間も短く、通話中のことも多いと予想される「家庭教育・子育て電話相談 すこやかコール」には年間1000件程度の相談が

寄せられている。

相談内容は、オムツかぶれから家庭教育の理念まで多種多様・多岐にわたり、深刻度も様々である。

高度情報社会といわれる昨今、家庭教育に直面しておられる方々に十分な情報が行き届いているのだろうか。その昔、井戸端などというコミュニティの共有スペースでは、老若男女の先輩たちによる有意義な家庭教育講座が開かれていた。相談する人、聞き耳を立てる人、それぞれに適時的確な情報を入手できていた。現代はどうされているのだろうか。

新潟県生涯学習情報提供システム「ラ・ラ・ネット」
http://www.lalanet.gr.jp/ http://www.lalanet.gr.jp/m (携帯版)
家庭教育・子育て電話相談「すこやかコール」
TEL:025-283-1150 FAX:025-284-6019
生涯学習相談・情報提供
TEL:025-284-6119 Mail: lalasoudan@mail.lalanet.gr.jp
ホームページ・Twitter
ホームページ: http://www.lalanet.gr.jp/ Twitter: http://twitter.com/lala_nlpc/



新潟県立生涯学習推進センター
新潟市中央区女池南3-1-2

TEL:025-284-6110 FAX:025-284-6019

Mail: nlpc@mail.lalanet.gr.jp